

## 新製品インフォメーション

液体シンチレーションアナライザーシステム  
Tri-Carb & QUANTULUS

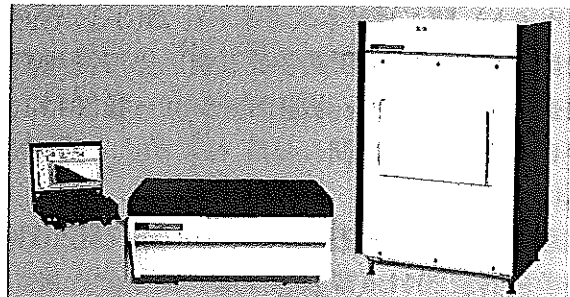
パーキンエルマーは、放射性物質測定に使用できるガンマカウンター、液体シンチレーションアナライザー、ICP質量分析装置を取り揃えており、震災以後各種のスクリーニング検査に向けて、分析機関、大学の他、食品メーカー、関連機械メーカーからの注文・問い合わせが増えている。同社の液体シンチレーションアナライザーは、もともとは創薬のアイソトープラベルの追跡などに使用されていた。α線、β線を測定できる装置があり、今後はストロンチウム、テクノシウム、ウラン、プルトニウムなどの測定アプリケーションも提案していく。液体シンチレーションアナライザーには、リサーチ、応用研究、分析といったさまざまな場面に対応するTri-Carbシリーズと環境測定専用のQUANTULUSがある。

特長：①独自のシンチレーションパルス解析により低バックグラウンド測定を実現、②外部線源

Baスペクトルの広いエネルギー領域を利用したtSIEクエンチングモニターが低レベル放射能サンプルにおいても精確で再現性のあるDPM計算を行う、③照射位置の最適化を図りサンプル量による依存性をきわめて少なくした、④高エネルギー核種を高濃度に測定可能、⑤サンプルバイアル搭載数最大70本

価格：1,300万円～

問い合わせ先：(株)パーキンエルマージャパン  
ライフサイエンス事業部 〒240-0005 横浜市保土ヶ谷神戸町134 横浜ビジネスパークテクニカルセンター 4F ☎045-339-5862



Tri-Carb (左) QUANTULUS (右)

SPMEと充填剤トラップを組み合わせた濃縮機構を搭載  
ヘッドスペース自動濃縮装置 Entech 7150

ガスクロマトグラフ等の分析機器を幅広く取り扱う西川計測は、Entech社のヘッドスペース自動濃縮装置「Entech 7150」を輸入販売している。同製品はSPMEと充填剤トラップを組み合わせた先進の濃縮機構を搭載しておりDeans Switchによる流路制御をしている。水蒸気リッチのヘッドスペース試料でも大量に導入して濃縮することができ、微量成分を高感度に測定可能だ。また、SPME濃縮とクライオフォーカス機能を兼ねた"Active SPME"は、効率的な濃縮およびクライオフォーカスを実現する。

特長：①小型で進化した3ステージ濃縮機構、②低コストの液体炭酸ガスを用いた低温濃縮、③Deans Switchによるサンプル流路制御、④VOCsからSVOCsまでのガス濃縮分析、⑤クライオフォーカス機能も兼ねた"Active SPME"トラッ

プ、⑥全ラインをSilonite不活性化処理、⑦各種サンプリング容器に対応、⑧ラインインジェクト方式のサンプル導入機構

仕様：①サンプルトラップ「3ステージ濃縮機構」／トラップ1：Active SPME／トラップ2：Silonite Lined Dehydration Trap／トラップ3：Cold Adsorbent Trap、②冷媒：液体CO<sub>2</sub>、③サンプル導入量：5～1,000CC at 100% RH, 25°C、④電源：100V 15A  
標準システム価格：1,250万円（税抜）

問い合わせ先：西川計測 (株) 分析営業本部  
〒108-8321 東京都港区三田3-13-16 三田43MTビル ☎03-3453-1337



Entech 7150を接続したAgilent7890A